

第4回湖西市部活動地域連携・地域移行推進協議会 概要

- 1 日 時 令和6年11月7日(木) 19時00分～20時30分
- 2 場 所 市民活動センター 2階大会議室
- 3 出席者 委員11名 (学識経験者2名、保護者代表2名、地域代表5名、校長2名)
事務局8名(教育次長、文化観光課長、スポーツ生涯学習課長、学校教育課長、
学校教育課職員4名)
傍聴者2名

4 協議内容

令和5年3月に実施した第3回協議会から第4回協議会までの取組み内容を説明し、今後の方向性とその課題・対応策について3つのグループに分かれて意見交換を行った。

以下の内容は、決定事項ではなく協議会で話し合われた主な意見。

<今後の方向性>

- 令和7年度より市内剣道部で、休日部活動の地域移行を試行する【ジュニアスポーツクラブが母体】
- 令和8年度より市内剣道部で、休日部活動の地域移行を開始する【地域クラブが母体】
- その他の部活動については、準備が整い次第、試行を経て地域クラブ化を目指す

<Aグループ>

- 部活動地域移行の完了時期については、期限を決めておくことによって、市内の子どもたちやその保護者、地域住民への理解促進につながると思う。そのためにも、周知広報活動が重要だといえる。
- 剣道部以外の部活動については、ジュニアスポーツクラブ指導者と部活動顧問の両者を交えた話し合いが必要だと感じた。

<Bグループ>

- 部活動地域移行について、子どもたちを中心に据えた目的設定が重要だと再確認した。今まで部活動が担ってきた「子どもたちの心身の育成」や「人間関係を良好に構築するコミュニケーション能力の育成」などは、部活動地域移行でも大切にしていけるべきである。
- 休日の地域移行を推進することで、並行して平日の地域移行のことも考えざるを得ないと思う。例えば、学校ごとに活動種目を設定し、子どもと指導者が移動する「拠点校方式の部活動」なども考えられるのではないかな。
- 大きな課題は、部活動地域移行に関わる費用だと思う。運営費だけでなく、指導者の報酬や団体登録料など受益者負担が増額することが考えられる。この課題については、地域企業と連携することで何か糸口が見つかるかもしれない。そのためにも、地域企業への周知が必要である。

<Cグループ>

- 今まで教員が培ってきた指導力(技術指導、生徒指導など)は、部活動地域移行でも貴重な財産といえる。意欲のある教員には、ぜひとも地域の指導者として部活動地域移行に携わってもらいたい。
- 部活動地域移行は、子どもやその保護者だけでなく、地域住民や地域企業にとっても関心のある取組だと思う。地域と協力連携していくためにも、積極的な周知広報活動が必要だといえる。